

ROAD OF THE RIVER

2019.vol.2



3月定例会「周年事業を行う心構え」 60周年実行委員会 委員長 井本 貴之

3月15日(金)第49代理事長及び50周年実行委員長を歴任された、千葉博之先輩をお招きし、60周年記念事業に臨む意識向上を目的とした3月定例会を開催いたしました。

むつ青年会議所では5年前に55周年を迎え、私も各種55周年の記念事業に関わって参りましたが、今年60周年を迎えるにあたり、前回のマル周年である50周年のことについて、色々と調べてきました。しかし、現役メンバーの中に50周年事業を経験した者がほぼおらず、50周年を経験された先輩にお話し頂き、現役メンバーのベクトルを合わせたいと思い、今例会を企画いたしました。

講演では、50周年記念事業の概要から、その記念事業を行った背景などの裏話もお話しいただき、記念事業を行う意義や責任を再確認することができました。また、講演後にディスカッションも行い、有意義なお話を伺うことができました。すべての部会と歩調を合わせ、全メンバー一丸となって、むつ青年会議所の歴史に残る年にしていきたいと思っております。

むつ湾海岸清掃に参加して

副理事長 竹本 慎太郎

4月20日に下北半島活性化研究会主導のもと、むつ湾海岸清掃が行われました。

清掃対象の横浜町の海岸線は、下北半島の玄関口にもかかわらず、潮流や風の影響などで漂流ゴミが多く累積する場所となっております。この日も風が強く、青年会議所ののぼりを立てるのにも、某委員長がかなり苦戦しておりました。

我々以外にも、高等学校の生徒さんや先生にも参加していただき、大量のごみを集めることができました。ゴミは主に自然界では分解されないプラスチック類で、柏屋顧問からは最後にマイクロプラスチックについての説明もしていただきました。

下北が誇る豊かな自然を未来につなげていくためにも、一人一人がゴミを適正に処理していかなければならないと改めて感じました。



2019年度アカデミー大学

特別講座 交流会

アカデミー大学 塾生 坂本 佑輝



3月4日、青森市にてアカデミー大学特別講座が行われました。道中若干のトラブルに見舞われましたが、JCで培った行動力で解決し無事会場に辿り着き、同期の塾生と共に特別講座を受講させていただきました。

会頭による特別講座では、「何を求めてJCに入会したのか」等JCとは自分にとってどのような存在なのかを今一度考え直す事ができ、また会頭の経歴やJCに対する考えなどの貴重なお話を聞く事ができました。

アカデミー大学の飲み会である青春の居酒屋では次の日大事な定期講習があった私は、体が拒絶反応を起こし、煽った酒をその場で吐き出すというハプニングがありましたが、一度だけのアカデミー大学、これからも楽しんでいきたいと思えます！

異業種交流会に参加して

拡大委員会 副委員長 紺野 健治

平成31年4月12日、会員拡大委員会事業として、むつ市内に在住且つUnder40の若手ビジネスマンを対象にした異業種交流会を、「プラザホテルむつ」にて開催致しました。

畠山善光委員長を筆頭にした委員会のメンバー、むつJCMメンバー、またむつJC以外の方々の協力も頂戴し、総勢94名のご参加を頂きました。

交流会の内容としては、まず参加者全員の自己紹介の他、むつJCの日頃の活動紹介ムービーの上映、各自自由に飲食しながらの名刺交換を行いました。Under40で100名近く集まるということは中々無いことなので、多くの新しい繋がりが生まれたことと思います。

余興としては利き日本酒・利きリンゴジュースが行われ、各々5つずつ用意された中から、指定された1つの種類を当てるというもので、登壇した回答者以外にも各テーブルにも用意され、シンプルながらも楽しまれておりました。

異業種交流会に参加して

拡大委員会 委員 成田 京介

四月十二日、「プラザホテルむつ」にて若手ビジネスマン異業種交流会が行われました。

年度初めの多忙な時期にもかかわらず、沢山の業種の方々に参加して頂きました。そして自分は青年会議所のメンバーとして初参加でしたのでとても緊張していました。

定刻となり、大久保直前理事長の乾杯で幕を開け各テーブルでは、名刺交換や自己紹介が行われました。

また途中、アトラクションとして利き酒選手権や利きリンゴジュース選手権を行い会場は大いに盛り上がりました。

最後は拡大委員会、畠山委員長の挨拶で惜しまれながらも閉会いたしました。

「また来年も参加したい」との声も多数上がり、今後の会員拡大に向け有意義な交流会となりました。



編集後記

まず始めに、対内紙の制作に関わりましたメンバーの皆様から感謝申し上げます。

2019年の上半期も残すところ1か月程となり、対内紙第一号を編集している時はまだ冬を感じる3月でしたが、5月19日今現在は初夏を思わせるような陽気となっております。

3月、4月の例会や行事が終わり、そして5月には「改元」という日本におけるビッグイベントがあり、新しい元号「令和」となりました。まるで新年を迎えるかのような、新しいスタートを切るに相応しい平成から令和への幕開け。歴史の変わり目に立ち会えたことに誇りを持ち、新時代を歩んでいきたいと思えます。

むつJCにおきましても、創立60周年を迎えるこの年に、様々なビッグイベントが控えています。5月11日に記念事業の一つである「職業体験事業」が行われ（こちらは対内紙第三号にて記事にしたいと思えます）、多数のご協力、ご参加をいただき無事に終えることができました。この事業に運営側として携わり感じたのは、地域が求めていることと、むつJCに求められていることが合致して事業の成功につながったという事です。予算などクリアしなければならぬ課題はありますが、持続可能な事業になることを願います。

最後に情報委員会からの予告としまして、6月に60周年企画である対内紙特別号を配信します。メンバーからの協力があって成り立っている対内紙ですので、次号もどうぞよろしくお願いたします。

情報委員会 委員長 川上大